

## 第1回“リハエミライ・アッセンブリー”参加報告

金井 美樹

埼玉県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション部 作業療法科

## 1. はじめに

今回、一般社団法人日本リハビリテーション工学協会企画で開催されたセミナー『第1回リハエミライ・アッセンブリー～キックオフ～』に参加しました。

## 2. 概要

日時：2022年3月2日(水) 18:00～19:00

会場：Zoom ミーティング

プログラム：

- ① 会長挨拶、連続セミナーの目的説明
- ② 西日本国際福祉機器展オンラインミーティング報告会
- ③ 症例報告会〈頸損筋トレに使う用具類(専用マシンの紹介)〉
- ④ 意見交換会

## 3. 当日の内容と感想

当日のプログラムでは西日本国際福祉機器展にて注目を集めた最新機器の紹介がありました。いくつかの商品の紹介の中で、個人的に注目したものは増田樹脂化学工業 アイツール ユニバーサルシャワーフック(図1)という商品でした。我が家の浴室は改修した際にシャワーフックが左壁に設置され、シャワーをかけた状態でちょうどよい角度での使用が難しい状況でした。仕方なく片手でシャワーを持ちながら洗い流す作業をしていました。「時々、両手で髪をきれいにすすぎたい。片麻痺の人だったらこのシャワーは使いにくいだろうな」と思っていたので、

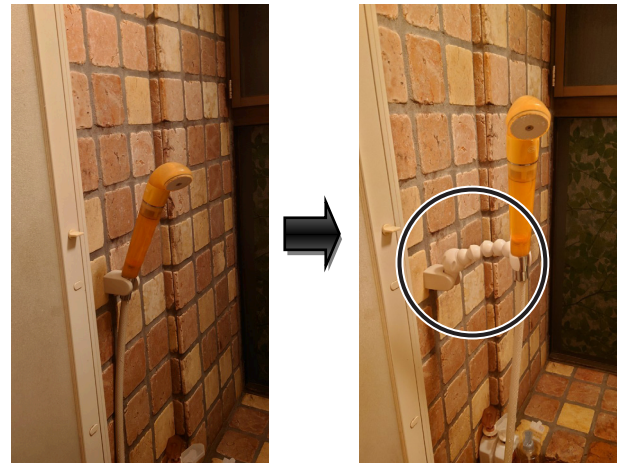


図1 増田樹脂化学工業  
アイツール ユニバーサルシャワーフック(筆者撮影)

こちらの商品の紹介を聞き、早速購入しました。実際にシャワーフックにかけて使用してみると横向きではなく自分に向けて使うことができました。そして、若干の長さを延長することも可能であったため、シャワーフックに手が届きにくいとの相談があった片麻痺患者の方にも紹介することができました。

また、地元企業や個人事業主の方々のアイデア製品の紹介も報告されており、発想の豊かさに驚きました。

症例報告会では伊佐拓哲氏による、〈頸損筋トレに使う用具類〉の紹介がありました。機器の紹介では、J-Workout(株)のトレーニングジムにある、機材を使用した動画を見ることができました。頸損の方でも自分で負荷設定できるところに魅力があり、自分でセットできることで、トレーニングに対してのモチベーションが向上することが期待できると感じました。

今回、セミナーに参加して、作業療法士としても発想を豊かに持ち、対象者のニーズに合ったサービスが提供できるよう頑張っていきたいと思いました。

埼玉県総合リハビリテーションセンター  
リハビリテーション部 作業療法科  
〒362-8567 埼玉県上尾市西貝塚 148-1